【セッションNo.1】

## 最新版 Delphi/400 11 Alexandriaについて

株式会社ミガロ. プロダクト事業部 技術支援課 **佐田 雄一** 





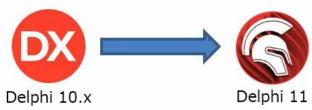
#### 【目次】

- 新しいバージョンのOSへの対応
  - Win11対応、iOS15、Android12対応
  - 新しいiOSシミュレータのサポート
- 10.2 Tokyo以降で強化された機能について
  - IDE(統合開発環境)の強化
  - 新しいVCLコンポーネント
  - GetItパッケージマネージャの強化
    - 追加コンポーネントKSVCの紹介





- Delphi/400 11 Alexandria (最新バージョン)
  - Delphi/400のベースとなる
     Delphi 11 Alexandriaが2021年9月にリリース
     (Delphiのメジャーバージョンが、Windows 11やMacOS 11にちなんで11に変更)
    - Delphiの最新版は、2022年9月リリースの「11.2」
  - Delphi/400の最新版として、 Delphi/400 11 Alexandriaが2022年9月リリース

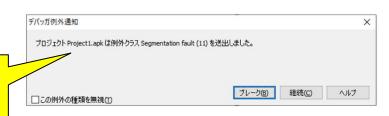






- Delphi/400 10.2 Tokyo(1つ前のバージョン)
  - 初期リリースは2017年10月
  - 以下のバージョンがサポートされていた
    - Windows 10 (Update 1703以上)
    - macOS 10.3 High Sierra
    - iOS 11
    - Android 8

WindowsはOS間の互換性が高く、Windows 11でも互換の範囲で動作するが、 モバイルOSは最新のデバイス要件を満たすことが難しい (Android 11以上はアプリを起動すらできない)



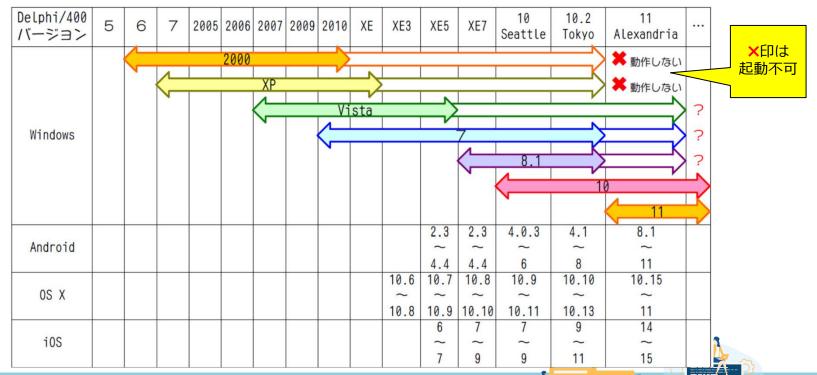




- Delphi/400 11 Alexandria(最新バージョン)
  - 2022年9月リリース
  - 以下のバージョンをサポート
    - Windows 11 (Windows 7以上・Windows Server 2016以上)
    - macOS 12 Monterey (OSX 10.15 Catalina以上)
    - iOS 15.x (iOS 14以上 ※iPadOSも同様)
    - Android 12 (Android 8.1以上)
    - iOS・Androidとも64bit対応しており、32bitアプリのサポートは終了



• Delphi/400 11 AlexandriaでサポートされるOSバージョン







#### • iOSシミュレータが必要になってきた背景

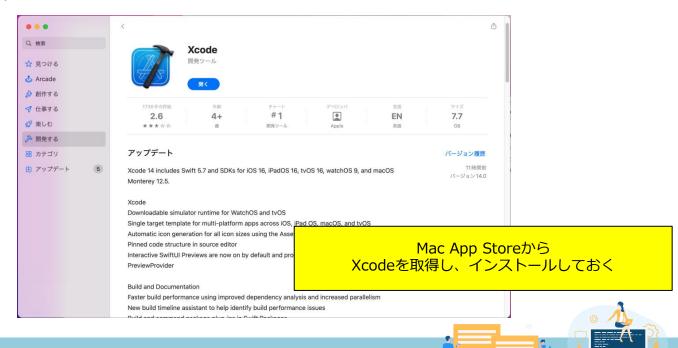
- Androidとは異なり、常に実機が必要だった
- かつてはデバイスの種類が少なく、 解像度の違いを意識する局面は少なかったため メジャーなデバイスだけ検証できればよかった
- 最近のiOSデバイスは、iPhone・iPad共に 多彩な解像度を持つデバイスがあり、 それらの実機を全て用意して検証することは難しい
- Delphi 11.2からは、Mac側に導入する 『Xcode』に搭載される64bitのiOSシミュレーターが、 Delphiからも使用できるようになった



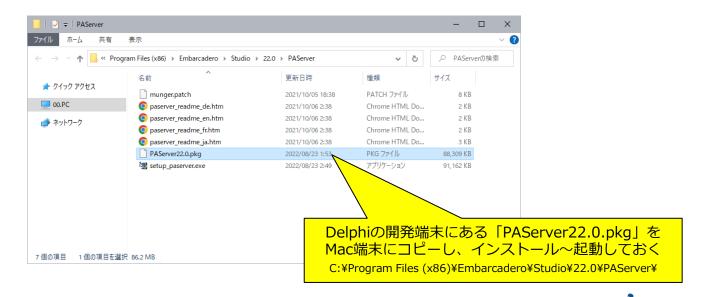




- 事前準備
  - Mac側の準備

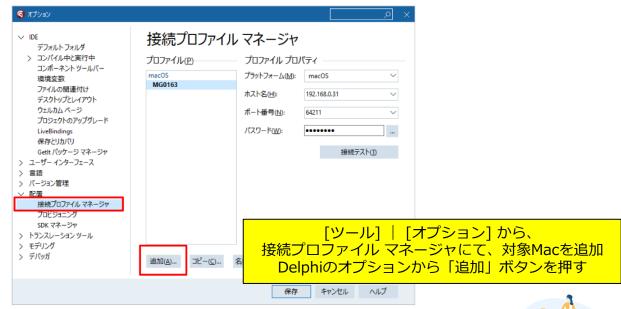


- 事前準備
  - Mac側の準備





- 事前準備
  - DelphiとMacの連携準備



## • 事前準備

DelphiとMacの連携準備





る 接続プロファイルの作成

PAServer のインストールの詳細

リモートマシン情報

接続先のMacのIPアドレスとポート番号を入力し、 「接続テスト」ボタンを押す (エラー時のメッセージは次ページ)

リモートマシン名かリモートマシンの P アドレスのどちらかを指定してください。リモートマシンに PAServer がインストールされて稼働している場合にのみ、接続プロファイルにより、ターゲットブラットフォームに接続できます。

リモートマシン (IP アドレスまたはマシン名)(R):

XXX.XXX.XXXX.XXX

ポート番号(P) 64211

パスワード(W):

パスワードの入力

任意のプロファイル名とプラットフォームを設定





接続テスト(T)

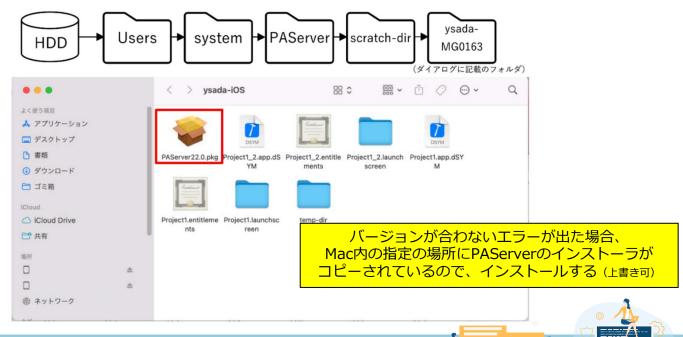
- 事前準備
  - DelphiとMacの連携準備(トラブルシューティング)



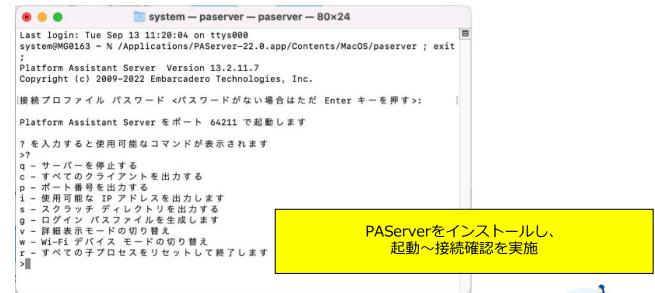




- 事前準備
  - DelphiとMacの連携準備(トラブルシューティング)



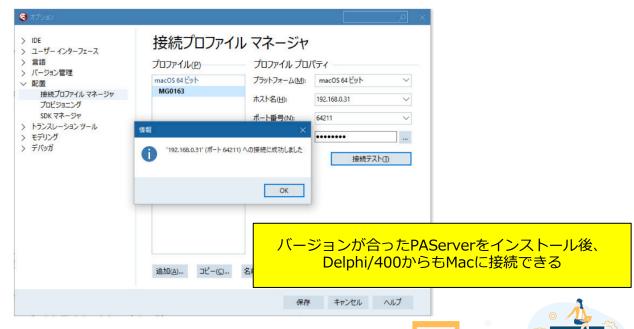
- 事前準備
  - DelphiとMacの連携準備





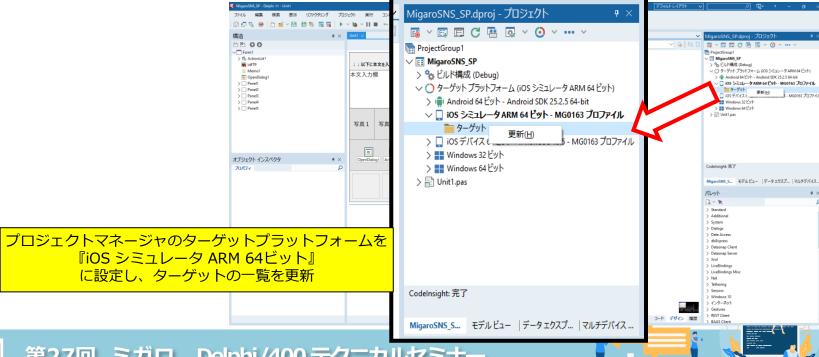


- 事前準備
  - DelphiとMacの連携準備



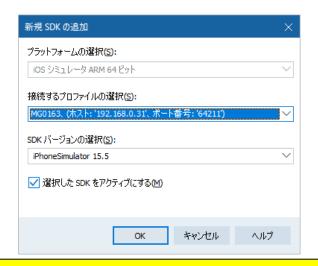
iOSシミュレータの実行 (当日デモ動画)

• ターゲットデバイスの選択





- iOSシミュレータの実行(当日デモ動画)
  - 新規SDKの追加を行うための設定(初回のみ)





コーカル ファイル キャッシュの更新
3 件目 (94 項目中) を処理しています

229,376 (324,616 バイト中) を受信しました

詳細
ファイル: libdang\_rt.cc\_kext\_tvos.a
パス: C:\*Users\*ysada\*Documents\*Embarcadero\*Studio\*SDKs\*iPhoneSimul...\*\*darwin\*

□グ(L):

キャンセル

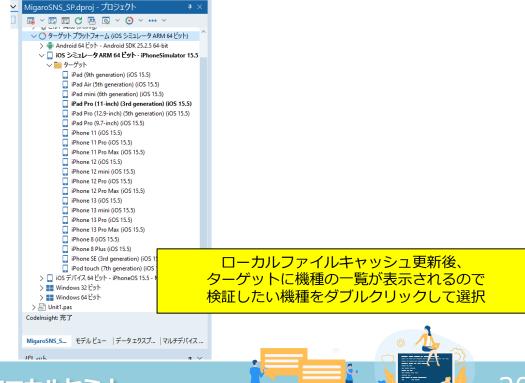
接続するMacの選択と、SDKバージョンの選択

ローカルファイルキャッシュが更新される



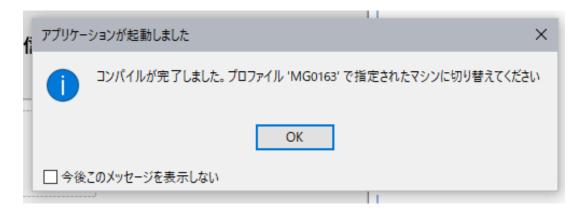


- iOSシミュレータの実行(当日デモ動画)
  - ターゲットデバイスの選択





- iOSシミュレータの実行(当日デモ動画)
  - コンパイルと実行

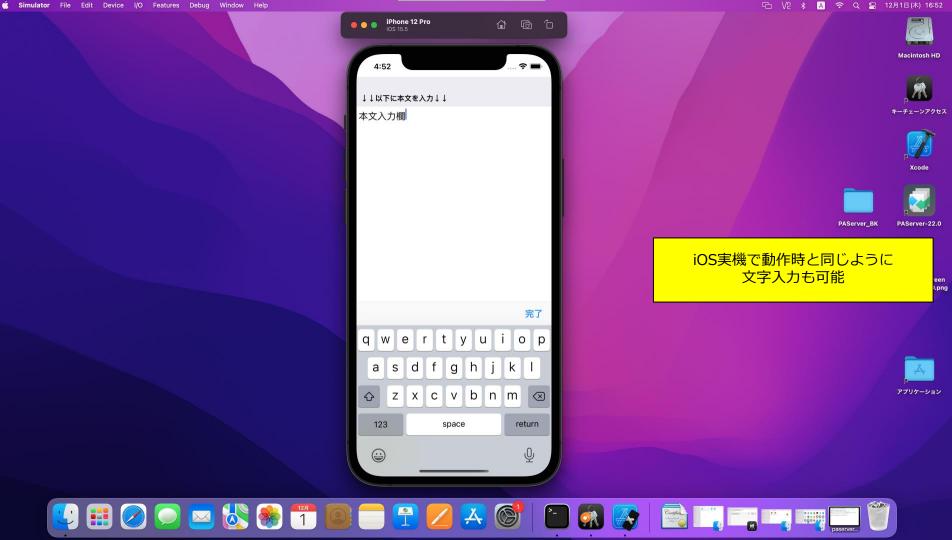


コンパイル完了メッセージ 「アプリケーションが起動しました」と表示されている













- IDE(統合開発環境)とは?
  - ソフトウェア開発のための統合的なプログラミング環境
  - Delphi/400においては本体となるDelphiそのものを指す
  - ソースコードエディタ、コンパイラ、リンカ、デバッガなどの 各ツールが直感的に利用できるように統合
  - IDE=「Integrated Development Environment」の頭文字

ここからDelphi 11 Alexandriaの機能強化ポイントについて解説





- Delphi 11 Alexandriaの機能強化 (当日デモ動画)
  - 「11.2」というのは、11 AlexandriaのUpdate 2という意味
  - ウェルカムページがカラフルでカスタマイズしやすい



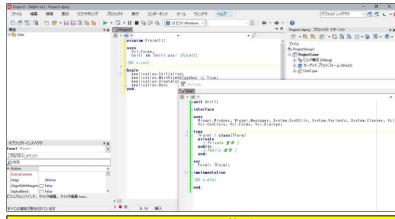




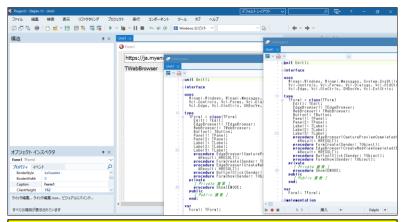




- Delphi 11 Alexandriaの機能強化 (当日デモ動画)
  - 「新規編集ウィンドウ」
    - 同一フォームを持つユニットが別々のウインドウで編集可能



10.2 Tokyoでは同一フォームは複数ウィンドウ開けない

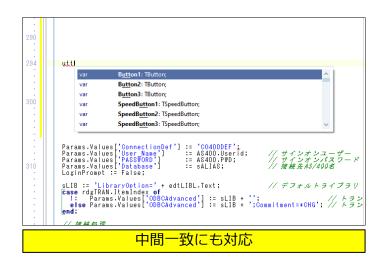


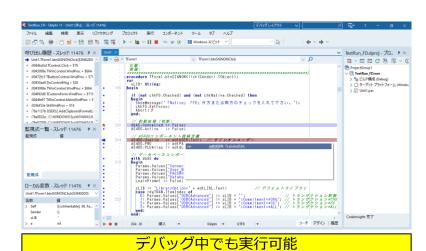
11 Alexandriaでは、同一フォームでも開ける





- Delphi 11 Alexandriaの機能強化 (当日デモ動画)
  - LSP(Language Server Protocol)への対応
  - コード補完の待ち時間が無くなり、デバッグ中も実行可能に









- Delphi 11 Alexandriaの機能強化 (当日デモ動画)
  - 条件付きコンパイルが色分けでわかりやすく

```
procedure TForm1.FileWriteProc;
const
 cFTPLib = '/8N8/'; // 転送先フォルダ
{$IFDEF IOS}
 cFMXAPP = '(iOSアプリから投稿)';
                                            // iOS向け処理
 cFMXAPP = '(Àndroidアプリから投稿)'; // Android向け処理
 cFMXAPP = '(FireMonkeyアブリ版-Windowsから投稿)'; // それ以外(Windows)向け処理
{$ENDIF}
                                                         条件付きコンパイルの条件に
var
 fPath: string;
                                                  一致していない部分のロジックは薄い色になる
 fname: array [0..4] of string; fImg: array [0..4] of IImage;
 msg: string;
// fpW: TextFile:
begin
 fTime := FormatDateTime('HHNNSS', Now);
{$IFDEF IOS}
__fPath := System.IOUtils.TPath.GetTempPath;
{$ENDIF}
```





- インライン変数のサポート
  - 宣言したコードブロック内(begin ~ end; の中)でのみ有効な var変数宣言が可能になった

(※もちろん従来の記法も引き続き使用可能)

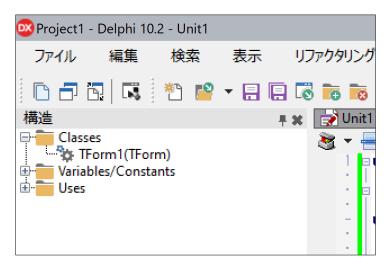
```
// 従来の記法
procedure TForm1. Button1Click(Sender: TObject);
var
   i: Integer;
begin
   for i := 1 to 100 do
   begin
        // 連続した処理
   end;
end;
※この変数 i はこの手続きの中で有効

従来は、関数や手続きの最初で必ず宣言
```

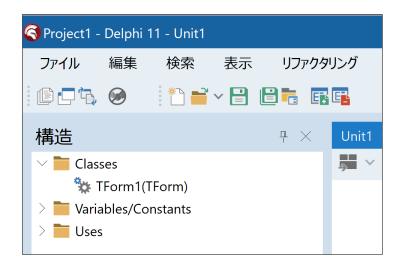
```
// 新しい記法
procedure TForm1. Button2Click(Sender: TObject);
begin
for var i := 1 to 100 do
begin
// 連続した処理
end;
end;
end;
```



• IDE本体の高解像度モニターへの対応



10.2 Tokyo 開発環境自体は高解像度に非対応で、 高DPIにすると文字がカクカクな表示



11 Alexandria IDE自体が高解像度対応しており、 繊細な文字で表示が可能





• IDE本体の高解像度モニターへの対応

```
Unit1

unit Unit1;

interface

uses

Winapi.Windows, Winapi.Messages

Vcl.Controls, Vcl.Forms, Vcl.Dia

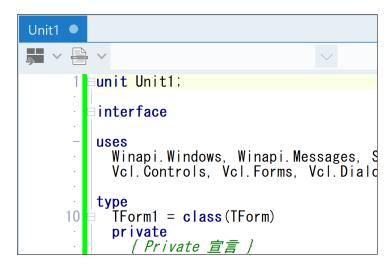
type

TForm1 = class(TForm)

private

/ Private 宣言 /
public
```

10.2 Tokyo 開発環境自体は高解像度に非対応で、 高DPIにすると文字がカクカクな表示



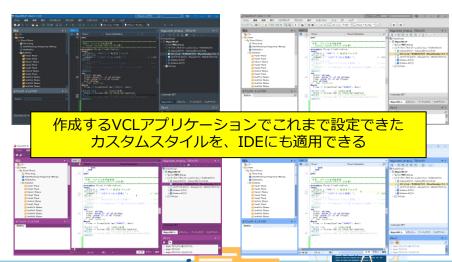
11 Alexandria IDE自体が高解像度対応しており、 繊細な文字で表示が可能





- テーマの切り替え
  - [ツール] メニューの [オプション] より、<u>IDEスタイル</u>を選択
  - ライトテーマ、ダークテーマ、マウンテンミストテーマおよび、 カスタムVCLスタイルに準じたテーマも選択可能



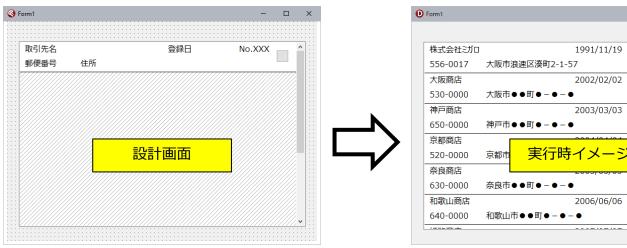


# ■ 新しいVCLコンポーネント



## ■ 新しいVCLコンポーネント

- TControlListコンポーネント
  - DB操作におけるTDBCtrlGridのように、 1行ぶんの設計をしておけば複数行を表示させることができる







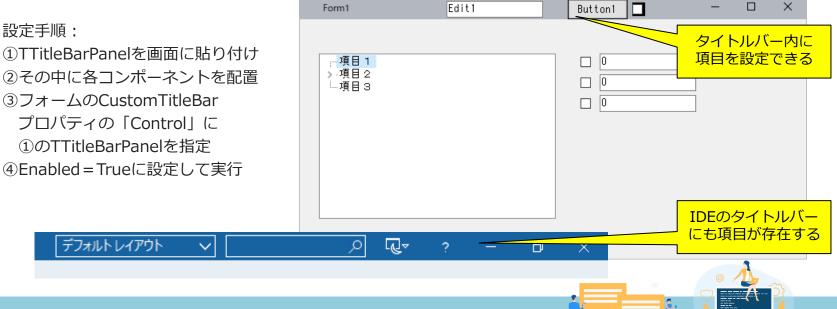
No.1

No.2

No.3

No.6

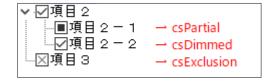
- タイトルバーのカスタマイズ
  - TTitleBarPanelコンポーネントとFormのCustomTitleBarを使用

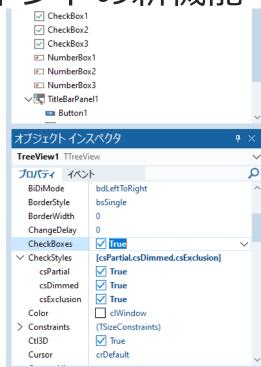


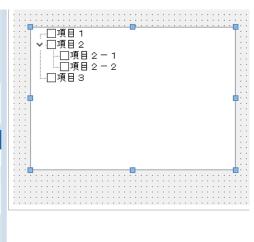


TTreeViewコンポーネントの新機能

- CheckBoxesプロパティ
  - Trueに設定すると チェックボックス有効化
  - ノードのCheckedで 読取・設定が可能
  - 様々なモードに対応









- TNumberBoxコンポーネント
  - 様々な書式に対応した数値用Edit
  - 主なプロパティ
    - Mode: nbmInteger/nbmCurrency/nbmFloat
    - DisplayFormat:表示書式(0埋めやカンマ区切りなど)
    - Value · MaxValue · MinValue : 現在値・最大値・最小値
    - NegativeValueColor:マイナスの時の文字色

¥5,000						
5,000	•			•	•	
-5,000						



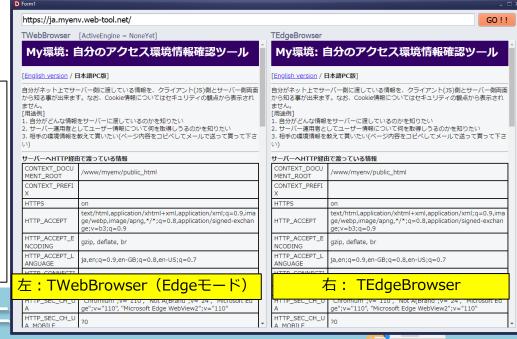


- TEdgeBrowserコンポーネント
  - 従来のTWebBrowserは古いIEベースでWebページを表示していたが、 TEdgeBrowserを使えばChromiumのEdgeベースで表示させることが可能
  - 従来のTWebBrowserにも、 Edgeモードが追加された

#### くご注意>

TEdgeBrowserやEdgeモードを有効にする条件

- ① GetIt パッケージマネージャより 『EdgeView2 SDK』を取得し、その中にある EXEと同じbit数の「WebView2Loader.dll」を EXEと同階層に配置
- ② Canary Channel VersionのEdgeをインストール
- ※この条件はFireMonkeyの TWebBrowserでEdgeモードを使用する際も同様

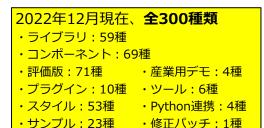


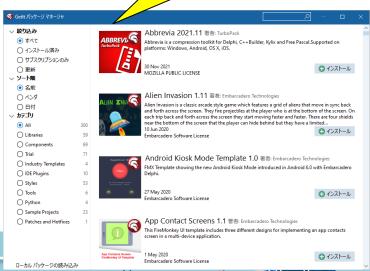




- GetItパッケージマネージャ
  - Delphi/400 10 Seattleより導入された、 アドオンやライブラリなどの導入ツール
  - IDEの [ツール] メニューから起動する
  - 製品(IDE)の修正パッチも 大きなもの以外はここで配布 (カテゴリの「Patches and Hotfixes」から)

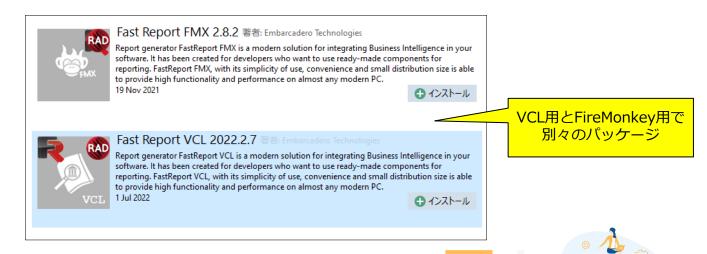






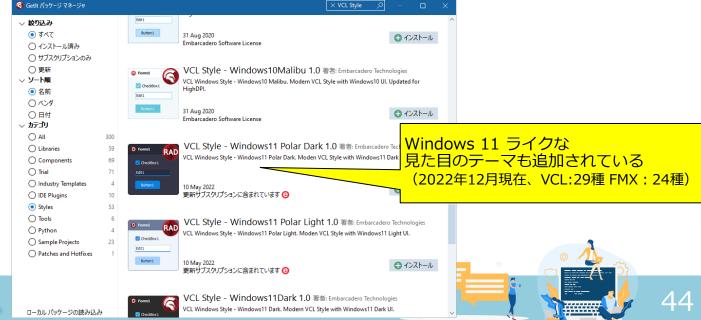


- GetItパッケージマネージャ
  - 11 Alexandriaでは製品に付属しなくなった
     FastReport (Embarcadero Edition:旧バンドル版)も
     GetItパッケージマネージャから取得するようになった



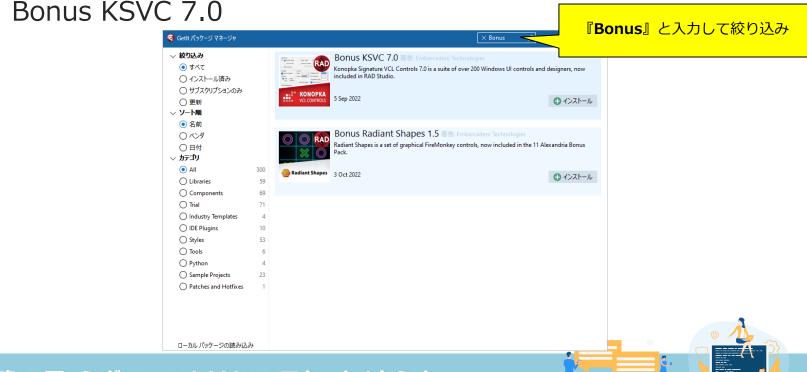


- 追加のVCLスタイル
  - GetItパッケージマネージャより、スタイルをダウンロード可能 (カテゴリの「Styles」から)





Embarcadero社より配布のボーナスパック

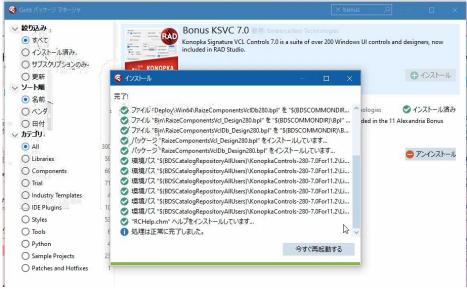




- 追加コンポーネントKSVC
  - KSVC = Konopka Signature VCL Controls の頭文字 元はRaize Software社が開発 (名前の通り、こちらはVCL用)
  - Delphi 11 Alexandriaでは、 VCLスタイルのサポートが行われたり、 高DPIサポートの機能の活用が追加されている



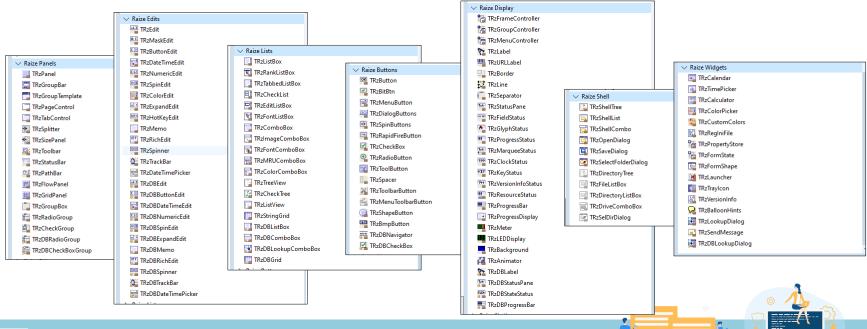
- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - GetItからインストール





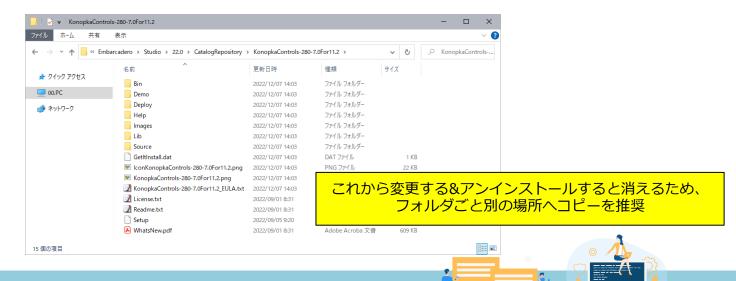


- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - 追加されるコンポーネントは全部で**131種類**





- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - 以下の場所にデモプログラムのソースがインストールされる C:\forallogRepository\forallogKonopkaControls-280-7.0For11.2\forallog





- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - そのままではコンパイルできないため、以下の準備や変更を実施
    - ① ソース変更 1
       コンパイルエラーになった以下の部分に引数(青字)を追加 ※2箇所
       if UsingSystemStyle(nil) then
    - ② ソース変更 2 コンパイルエラーになった以下の部分(赤字)をコメントアウト

```
// if FCurrentVS = vsGradient then
// C := GetGradientPanelFrameColor( FCurrentGCS )
// else
    C := clBtnShadow;
```



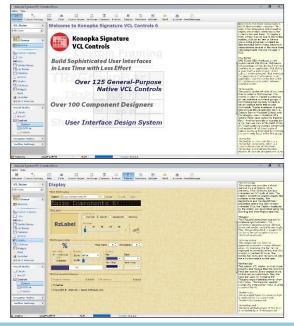


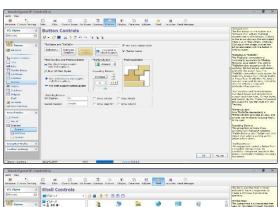
- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - そのままではコンパイルできないため、以下の準備や変更を実施
    - ③ Windows SDKのインストールを求められた場合は、 Microsoft社のサイトより取得してインストール <a href="https://developer.microsoft.com/ja-jp/windows/downloads/windows-sdk/">https://developer.microsoft.com/ja-jp/windows/downloads/windows-sdk/</a>
    - ④ コンパイルしてもIDEからの実行でエラーになる場合は、 生成されたEXE (RCDemo.exe) をダブルクリックで実行
      - ※どうしてもコンパイルできない場合は、Demoフォルダ内の「RCDemo.zip」を解凍すると旧バージョンの「RCDemo.exe」を実行可能





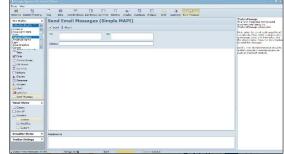
- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - デモプログラムの実行イメージ









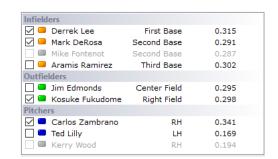




- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - TRzPageControlコンポーネント
    - TabSheetの形状や色、 アイコン画像の位置を自由に設定できる



- TRzCheckListコンポーネント
  - 項目ごとにアイコンやチェックの付いた リストボックス









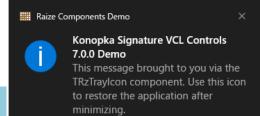
- 追加コンポーネントKSVC (当日デモ動画)
  - TRzShapeButtonコンポーネント
    - 読み込ませたBitmapをボタンとして押下できる
  - TRzLEDDisplayコンポーネント
    - 文字列をLED電光掲示のような見た目で表示したり、左右に流すことができる (半角英数字・記号のみ対応)



TRzShapeButton

- TRzTrayIconコンポーネント
  - システムトレイにアプリケーションを配置したり、 バルーンヒントを出すことができる





この1つ1つがボタン







## ■ まとめ

- Delphi 11 Alexandria
  - Delphi 10 Seattle 以降(Enterprise以上)の アップデートサブスクリプション加入中であれば、 My Embarcaderoよりダウンロード可能 https://my.embarcadero.com/

My Downloads											
PRODUCT FAMILY	PRODUCT	SIZE	RELEASE DATE	LANGUAG							
RAD Studio	FMXLinux Package Download for RAD Studio 11.2	68.13 MB	2022-10-06								
RAD Studio	Embarcadero General Packages Download for RAD Studio 11.2	76.56 MB	2022-10-06								
RAD Studio	RAD Studio 11.2 Patch 1	516.38 MB	2022-10-05								
RAD Studio	RAD Studio, Delphi, C++Builder 11.2 ISO	6.15 GB	2022-09-08								
RAD Studio	RAD Studio, Delphi, C++Builder 11.2 Web Install	154.62 MB	2022-09-08								
RAD Studio	RAD Studio, C++Builder 11.1.5 ISO	5.52 GB	2022-07-15								
RAD Studio	RAD Studio, C++Builder 11.1.5 Web Install	153.67 MB	2022-07-15								
RAD Studio	Windows 11 Win32 Debugging Patch for RAD Studio 11.1	38.68 MB	2022-05-28								
RAD Studio	RAD Studio 11.1 Patch 1	394.92 MB	2022-04-28								
RAD Studio	TwineCompile 5.4.0	6 MB	2022-03-26								



## ■ まとめ

- Delphi/400 11 Alexandria (IBM i ミドルウェア)
  - 弊社Delphi/400メンテナンスご加入のお客様は、 お手続きいただければバージョンアップ可能
- Migaro. 技術Tips
  - 2023年 Delphi/400 11 Alexandriaの情報を続々掲載予定!
     <a href="https://www.migaro.co.jp/tips/">https://www.migaro.co.jp/tips/</a>

■ご清聴ありがとうございました。

